

## 長妻大臣閣議後記者会見概要

(H22.7.13(火) 10:50 ~ 11:14 省内会見室)

【厚生労働省 広報室】

### 関連抜粋

(記者)

国会がねじれる形になったと思いますが、ますます野党への配慮が必要になってくると思いますがその辺がどうなのかということと、具体的に子ども手当、派遣法が国会の状況によってどう変わっていくのか、大臣の考えをお聞かせ下さい。

(大臣)

冒頭も申し上げましたが、いわゆる「ねじれ国会」というようなことになりましたので、今以上に野党にも丁寧に説明をして、ある程度前もった丁寧な説明ということについて十分我々も考えていかななくてはならないということだと思います。その中で子ども手当であります、23年度の予算編成の中で議論をして決定をすると、参議院のマニフェストにも上乘せということを書かせていただきましたが、こういう議論についても今後調整をしなくてはなりません、政調が出来ましたので政調とも連動をして、財政当局の話もありますので、まずは我々の中できちんと議論をするということが先決だと思います。そして派遣法につきましては、両方のサイドから、一方では「厳しすぎるのではないか」という御批判もあるし、一方では「生ぬるいのではないか」と、国会でも御指摘をいただいているところでありますので、前国会でも若干審議は入りましたので、これも国対とも相談をして野党の皆さんのご意見を聞いて、これは閣議決定をして、国会で重要広範議案ということにもしていただきましたので成立をさせるということで全力を取り組むということでもあります。